

星総合病院移転新築工事における 使用コンクリートの安全性を確認しました

二本松市の建物で高い放射線量が測定された件に関して、星総合病院移転新築工事で使用されている砕石および打設したコンクリートについて調査を実施しました。

①現在問題となっている業者及び計画的避難区域内で採取した砕石等を原料としたコンクリートは一切使用していない。

②生コン業者は、納入した全ての砕石等の放射線量を測定しており、安全性を確認した上でコンクリートに使用している。

(全て $0.003 \mu\text{Sv/h}$ 以下)

③新病院建設現場において、コンクリート打設部分計 46 地点（中央診療棟 22 地点、病棟 24 地点）について線量を測定したところ、最高 $0.36 \mu\text{Sv/h}$ 、最低 $0.08 \mu\text{Sv/h}$ 、平均 $0.234 \mu\text{Sv/h}$ という値であった。（平成 24 年 1 月 16 日現在）

※なおこの数値は、純粋なコンクリート打設部分の線量ではなく環境放射線量を含む値です。

以上の結果から、新病院建設地で使用されているコンクリートについて安全性が確認されたことをご報告致します。

平成 24 年 1 月 18 日
財団法人星総合病院